

C-37 運針による学生の性格把握について(第2報)

山田家政短大 桜木きみ恵 O 篠美代子 山田満子

目的 第1報同様、運針を通して、心身の健康状態、人柄を把握し、人間理解のよりどころとして役立てたい。

方法 運針テストは、あらかじめ、30本糸通しをしておき、号令により、1分ごとに、針をかえ、列をかえて、前期15分、休憩10分、後期15分おこなった。テスト後、糸こきを充分にし、グラフ用紙に表の針目数を破線、長さを実線の曲線で整理する。

結果 前回は、心身の健康度を求めたが、今回は、日頃の人間観察と曲線の類型から人柄を求めた。たとえば、曲線の終末が盛り上がる傾向があれば頑張りがきくが、下がり傾向は弱さを感じる等、同一類型グループの学生に共通点がみられる。これは、人間形成指導の客観的資料として役立つものである。